

利便性が凝縮した 大門地区の再整備を



平間 正治
(清風クラブ)

◆コンパクトで利便性のよい
大門地区へ人口誘導を

問 本年1月1日現在の県内人口で、塩尻市は前年同日比74人増の6万7千56人となり県下19市で唯一、人口を増やした。地方創生のなかで人口増は大変望ましいことであり、今後も積極的に人口誘導策を講じていかなければならない。

答 しかし、大門地区は空き地や空き家が増加し、人口が減少傾向にある。これまで下水道整備や街路整備等を行い、市役所を始めとした公共施設や学校・病院・駅や商店にも近く利便性が凝縮した地区である。こうしたことから、道路等の再整備も含め、政策的に人口誘導を図るべきではないか。

◆通学区変更は丁寧な説明を

問 大門地区にある西小学校の児童数が減少している。将来を見通す中で、現在桔梗小学校への通学区の一部を見直し、西小学校への通学とする見直しをしているようだが、地域や保護者の関心は高い。情報公開や丁寧な説明が必要であり、29年度設置予定の通学区区域審議会などは公開とすべきではないか。

答 地域や保護者から出された意見は出来るだけ尊重していく。また、通学区区域審議会は、本定例会に条例の改正案を提出しており、原則として公開していく予定である。



児童の減少が続く西小学校

子どもの医療費 窓口での無料化実現を



中村 努
(公明党)

◆子ども医療費窓口無料化へ

問 国では、子どもの医療費無料化について、平成30年度から未就学児まで、ペナルティを課さないこととした。公明党としては、県並びに市に

対し中学3年生までの窓口無料化を要望したが、検討状況や市の考えはどうか。

答 長野県では、今後の給付方式について、市町村と検討を始めることを表明し、平成29年1月、市長会及び町村会の代表と県健康福祉部長により検討会が開催された。国の方針のとおり、未就学児まで窓口無料化とする事が確認され、全市町村が医療費の給付対象としている中学校卒業まで窓口無料化をするよう意見が出ています。本市としては、中学校卒業までとし、県下統一のシンプルな制度となるよう、また、500円の自己負担は継続したいと回答している。

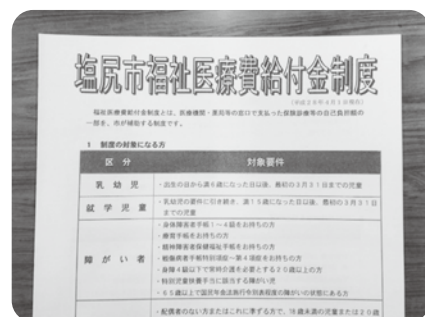
問 1カ月500円の負担は理解するが、病院と薬局処方、複数の病気で受診すると何倍に

もなるので、考えてもらいたい。どうか。

答 県との検討会で検討材料とした。

◆市民による道路パトロール
道路の損傷による損害賠償の事案が多い。早期発見対応が必要だ。平成28年から市民がスマートフォンを使い通報できるアプリ道路損傷情報システム「塩レポ」を開始した。広く周知し、協力を仰ぐべきだ。

答 現在登録者が40名程度と少ない。通報後の速やかな対応ができるので、普及に力を入れ、ユーザーを増やしたい。



現行の子ども医療費補助制度